

教科名

国語

	学力調査・体力調査・定期考査等の分析	指導方法の課題	授業革新に向けての具体的な手立て
7 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・説明的文章においては、文章構成を分析し筆者の主張を探せるが、簡潔にまとめることに課題がある。 ・文学的文章では、登場人物の心情が表れる一文は探せるが、その心情を適切に表現することに課題がある。 ・語彙や文法の基礎学力に関しては、漢字の書き取りに苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書いてまとめる」という作業に抵抗感をもたないように、主語・述語を入れた短文作りから始める。 ・心情を適切に表現できるように語彙力の向上を図る。 ・語彙力の向上を目指し、辞書引きをしたり、漢字を書き取ったりする練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示語が示す部分を探して簡潔にまとめる練習や要約文の作成練習を繰り返す。 ・心情を表す似た言葉同士を比較して違いを理解したり、同意義の言葉を探したりして使いこなせるようにする。 ・定期的に辞書で言葉の意味を調べて例文を作ったり、漢字を書き取ったりする練習時間を設ける。
8 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・説明的文章においては、文章構成は理解し読み取れるが、筆者の意見と事実の区別がまだ十分ではない。 ・文学的文章では、登場人物の心情が表れている一文は探せるが、その心情を適切に表現することに課題がある。 ・語彙や文法の基礎学力に関しては、漢字の書き取りに苦手意識がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書で学習した内容を他の文章でも同様に行えるかどうか試すなど、応用力を高めながら筆者の意見と事実を区別することに慣れる。 ・心情を適切に表現できるように語彙力の向上を図る。 ・語彙力の向上を目指し、辞書引きをしたり、漢字を書き取ったりする練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の意見（中心文）がある箇所の探し方を理解し、様々な文章に触れて実践を積む。 ・心情を表す似た言葉同士を比較して違いを理解したり、同意義の言葉を探したりして使いこなせるようにする。 ・定期的に辞書で言葉の意味を調べて例文を作ったり、漢字を書き取ったりする練習時間を設ける。
9 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字においては、書きの分野に関して、正答率が読み比べて半分程度である。 ・説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを文章として書いて表現することが苦手である。 ・文章を正確に読解する能力に大きな個人差がある。 ・書字において、形が整わず乱雑な文字が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に漢字を書くことで、正しく漢字を書く能力を育てる。 ・200字程度の文章を、自身の考えや経験をもとに書くことができるようにする。 ・読解において何を聞いているのかの結果のみではなく、そのプロセスを重視させる。 ・正確に文字を書く意識を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の自習を促しながら、漢字の書き取りテストを学期に4回以上取り入れる。 ・作文指導の中で文章構成を指導し、書き方の決まりから指導する。 ・解答のみを示すのではなく、出題の意図まで考えさせ、基本的な読解力の底上げを図る。 ・毛筆のみならず硬筆の書写を定期的に指導する。